

平成 25 年度 日本環境変異原学会公開シンポジウム
テーマ「東アジア地域の環境汚染の現状とヒト健康への影響」

日 時：平成 25 年 5 月 25 日（土）
場 所：慶應義塾大学芝共立キャンパス
世話人：渡辺 徹志（京都薬科大学）、戸塚 ゆ加里（国立がん研究センター研究所）

プログラム

10：00～10：05 開会の辞 葛西 宏（産業医科大学/日本環境変異原学会会長）

10：05～10：10 はじめに 世話人 渡辺 徹志

座長 若林 敬二（静岡県立大学環境科学研究所）
特別講演

10：10～10：45 大森 豊緑（環境省大気環境課）
わが国における PM2.5 対策の現状と課題

一般講演

10：45～11：20 渡辺 徹志（京都薬科大学）
大気粉塵及び変異原性物質による汚染－黄砂現象との関係

11：20～11：55 中島 大介（国立環境研究所 環境リスク研究センター）
半揮発性物質による大気汚染及びその生物活性

11：55～13：00 昼食

座長 青木 康展（国立環境研究所 環境リスク研究センター）

13：00～13：45 山口 進康（大阪大学大学院薬学研究科）
黄砂現象による細菌の長距離移動

13：45～14：30 早川 和一（金沢大学医薬保健研究域薬学系）
東アジア地域における汚染物質 PAH 類の発生と動態

14：30～14：45 休憩

座長 戸塚 ゆ加里（国立がん研究センター研究所）

14：45～15：30 渡部 仁成（鳥取大学医学部）
黄砂飛来がぜん息・アレルギー等の呼吸器疾患に及ぼす影響

15：30～16：15 白石 航也（国立がん研究センター研究所）
ドライバー遺伝子変異と発がん感受性に関わる遺伝子多型
－アジア人肺がんの分子疫学

16：15～17：00 片野田 耕太（国立がん研究センター がん対策情報センター）
大気中微小粒子状物質への長期間曝露がヒト健康に及ぼす影響

17：00～17：10 おわりに 世話人 戸塚 ゆ加里